

お施主さま用保存版

樹脂内窓リクラス 取扱い説明書

■第1章	安全にお使いいただくために	 1
■第2章	日常使用時の注意について	 2
■第3章	お手入れ方法について	 3
■第4章	窓等に起こりえる現象とその対策	 4

お読みになった後、このパンフレットは、
いつでもご使用頂けるように大切に保管してください。

販売店・工務店・建設(築)会社様へのお願い
この取扱い説明書は施工後必ず、お施主様へお渡しください。

第1章 安全にお使いいただくために

住宅建材商品は、雨や風・日ざし・温度の自然現象、また人的操作による破損・磨耗等により変化してきます。このパンフレットは商品を正しく、安全にお使いいただくために注意すべき点を記載しています。安全性に関して重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して商品の正しい操作をしてください。

▲ 注 意	取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的傷害の発生が想定されることを示します。
お 願 い	知っていると役立つレベルの注意喚起情報や操作説明等を示します。

第2章 日常使用時の注意について

「リクラス」は、既存外窓の内側に取り付けることを前提とした商品です。外窓と比較すると耐風圧強度や水密性能が低いため、以下のことに注意してご使用ください。

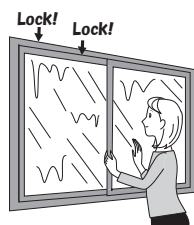
⚠ 注意 風が強い時は、「リクラス」の外側の外部サッシも必ず閉めてください。

「リクラス」は既存外窓の内側に取り付けることを前提としていますので、耐風圧強度は外窓より低くなっています。外窓が開いている状態で「リクラス」に強風が当たると、障子が脱落して事故やケガにつながる可能性があります。



⚠ 注意 雨が降りこむときは、外部サッシも閉めてください。

「リクラス」は水密性能は考慮されていません。外窓が開いている状態で「リクラス」に雨が当たると、室内側に漏水する可能性があります。



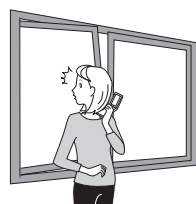
⚠ 注意 上下枠や額縁などにぶらさ
がったりしないでください。

重さによって破損や脱落したりして、事故やケガにつながる可能性があります。



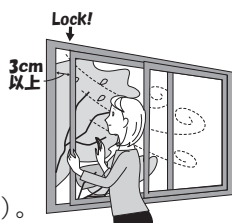
⚠ 注意 ガラス障子に寄りかか
らないでください。

障子のはずれたり、ガラスが割れたりして、事故やケガにつながる可能性があります。



お 願 い…マンションなどで、台風など特に強風時に、玄関や窓を開ける時は外部サッシをしっかり閉めた上で、「リクラス」を少し(3cm以上)開けてください(引違い窓の場合)。

マンションなどで、台風などの強風時に玄関や外気に面した窓が開くと、急激な負圧が「リクラス」にかかり、上枠が変形することがあります(引違い窓の場合)。



第3章 お手入れ方法について

MNT-1055裏

取扱いのご注意

- ストーブやアイロンなどの高温物や高熱源の器具等を接触させたり、近づけないようご注意ください。接触したり近づけると、商品が変形する恐れがあります。サッシと高熱器具等の距離を十分にとってください。
- 通常の使用には充分耐えられる構造になっていますが、部分的に衝撃を与えますと、破損したりキズが付く恐れがありますので、乱暴な取扱いは避けるようにしてください。



お手入れ方法

- ①サッシに付着した煤煙や土ほこり等をやわらかい布で拭き取ってください。強く拭きまですと、付着している砂等でサッシ表面にすりキズを付けることがありますので、丁寧に拭きとってください。落ちにくい汚れは中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭いて汚れを除去した後に、水を含ませたやわらかい布で中性洗剤を拭き取ります。最後に乾いた布で水分を拭き取ります。
- ②特にサッシの下レール（下枠）は砂や泥・ほこりが溜まりやすいところ。掃除機やハケなどで砂やほこりを取り除き、落ちにくい汚れは中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭いて汚れを除去した後に、水を含ませたやわらかい布で中性洗剤を拭き取ります。最後に乾いた布で水分を拭き取ります。



お手入れのご注意

- 市販の中性洗剤を1～2%に薄めてご使用ください。
- 家具・床などに使用する溶剤系洗剤のクリーニング剤や、便器・タオル洗剤などの酸性・アルカリ性の洗剤は、表面の皮膜をおかしますので使用しないでください。
- みがき粉、たわし等の固いもので擦らないでください。
- 汚れを落す時、ワイヤーブラシ、金属製のわし、金ペラなどは避け、布やスポンジなどのやわらかい物を使用してください。また、アセトン・ケトンなどの有機溶剤の使用は避けてください。



第4章 窓等に起こりえる現象とその対策

■結露について

窓の表面温度が露点温度(※)より低いとき、窓の表面に結露が発生します。

結露は、室内の状態によっては、リクラスを取付けても発生する場合があります。

完全に結露を無くすことはできませんが、次のようなことに注意することで、結露を抑えることができます。

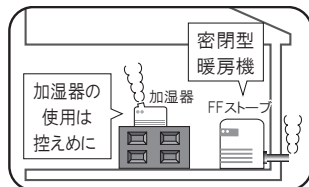
※室内の空気に含まれる水蒸気は、温度が一定以下になると結露しはじめます。

その時の温度を露点温度といいます。

●水蒸気の発生を減らす

室内で発生する水蒸気に無関心だった生活から、発生を抑える生活へ、少しだけ工夫してみましょう。

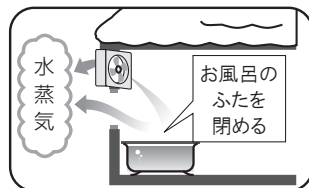
- ・加湿器の使用は控えめに
- ・洗濯物なるべく室内に干さない
- ・お風呂のフタを開けっ放しにしない
- ・密閉型の暖房機(FFストーブなど)や、水蒸気が発生しない暖房機(エアコンなど)を使用する



●十分な換気をする

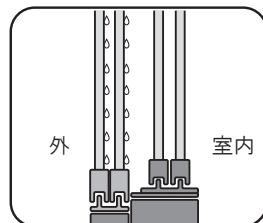
室内で発生した余分な水蒸気は、換気扇を回したり、窓を開けたりして、こまめに室外へ排出しましょう。

- ・炊事や食事に出る水蒸気
- ・就寝中にからだから発散される水蒸気
- ・鉢植えが出す水蒸気
- ・浴室や洗面所から出る水蒸気



■「リクラス」取付け時の外部サッシの結露について

リクラスを取付けても外部サッシに結露が発生する場合があります。室内の湿気を含んだ空気が、リクラスと外部サッシの間に閉じ込められることで、冷やされた外部サッシ側に結露が発生することがあります。窓の不具合ではないことをご了承ください。

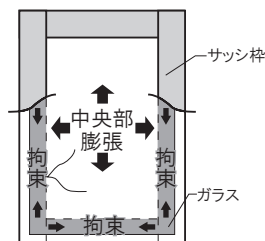


■ガラスの熱割れについて

窓にはめ込まれたガラスに、太陽光があたることにより、その熱でごく稀に割れることがあります。この現象が「熱割れ」と呼ばれ、外窓が網入りガラスの時や、内窓のガラスがLow-Eガラスの場合に発生することがあります。ガラスは熱によって膨張する性質があるため、ガラス中央部と周辺部の温度差により熱膨張差が生じます。この熱膨張差がガラス自体の強度を超えたときに、ガラスの割れが発生します。熱割れを予防するために、以下の点にご注意ください。

●熱割れの防止

- ・カーテンやブラインドなどの遮蔽物を、ガラス面に密着させない
- ・座ぶとんや置物などを、ガラス面に立てかけない
- ・冷暖房の吹き出し空気や熱を、直接ガラスに当てない
- ・ガラス面に紙やフィルムを張ったり、ペンキを塗ったりしない
- ・室内側に熱だまりをつくらない



新日軽株式会社

本社／〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目7番5号

お客様相談室(フリーダイヤル)0120-37-2534